



御坊祭・名屋組の祭礼道具を展示

御坊祭・名屋組の祭礼道具展示

6日から一新 御坊寺内町会館

御坊商工会議所は、情報発信拠点として中町2丁目商店街に開設している「御坊寺内町会館」に御坊206のメイン展示物を「紀州鉄道」から、5日に御坊祭・本祭を終えた名屋組の祭礼道具に一新し、6日から公開。来年1月中旬まで展示している。

6日午前中に入れ替え作業を行い、名屋組の屋台、のぼり、箆鉾、衣装など祭礼道具を展示したほか、名屋組印の「五本骨の扇」の由来や名屋組の主職の「船

附大明神」の由来を書いたパネルも設置しており、同組関係者は「多くの人に祭礼道具を見ていただきたい」とPRしている。

これまで御坊祭の御坊町、下組の四つ太鼓や屋台など祭礼道具、県無形文化財指定第1号の「戯瓢踊(けほんおどり)」、紀州鉄道を順次展示し、人気を集めている。開館日は毎週火・金・土・日曜日と祝日。開館時間は午前11時から午後4時まで。